

【オープニング:趣旨説明】

今回、座談会・インタビューをお願いいたしました、その目的は、世界有数の人口密集地であるこの『MD330 地区(首都圏)』において、ライオンズクラブ(以下 LC)の皆さまがどのような熱い想いで活動されているかを、広く一般市民の方々に届けるためです。

市民の皆さまに LC の活動を正しく知っていただき、『面白そうだな』『素晴らしいな』と共感・信頼してもらうこと。そして、いずれは一緒に活動し、継続的な交流へ繋げていくために、MD 三浦議長、ABC 地区のガバナーの皆さんが率いる MD330 地区がどのような役割を担っていくのか、ぜひその熱い想いをお聞かせください。

本日は座談会形式で、三浦議長、ABC ガバナーのこれまでの歩みや、肌で感じてこられた実体験のお話をお伺いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。」

【本編】

◆ 第 1 問(一般市民を惹きつけ、感謝されたアクティビティについて)

「それでは最初の質問です。議長、ガバナーの皆さんはこれまで長年 LC で輝かしい活躍をされてきましたが、ご自身の LC 歴の中で、『これは特に一般の市民の方々に惹きつけ、参加者も多かったな』と記憶に残っているアクティビティはありますでしょうか。その際、参加者の方からいただいた感謝の言葉や、笑顔になれたエピソードも合わせてご披露いただけますでしょうか。

◆ 第 2 問(地域が変わった・良くなった具体的な事例)

様々なアクティビティを実施していく中で、『この活動を通じて、実際に地域が変わった、良くなった』と、目に見える変化を肌で感じられた具体的な事例がありましたら、ぜひ教えてください。」

◆ 第 3 問(首都圏の地域課題と LC の取り組み)

さて、ここからは複合地区という視点でお伺いします。「私たちが暮らすこの首都圏（東京・神奈川・山梨・埼玉）は、非常に人口が集中している地域です。皆さんは、現在の首都圏の地域社会や街が抱える『一番の課題』は何だと認識されていますか。また、LC として、その課題を解決するためにどのような準備や活動を進められているのでしょうか。」

◆ 第 4 問(震災における LC の役割、リーダーとしての準備)

課題といえば、もう一つ避けて通れないのが『いつかやってくる震災』への備えです。災害時における『自助・共助・公助』を支える上で、地元の経営者やリーダーが集まる LC が果たすべき『役割や役目』について、どのようにお考えでしょうか。また、街のリーダーとして地震の直後、すぐ活躍できるよう、日頃からどのような準備をなされているのかお聞かせください。」

◆ 第 5 問(若い世代へのアプローチ・仕掛け)

「有事の際、地域に LC の皆さまがいるということは、市民にとって大きな安心材料になります。結びの質問です。受け継いできた LC の活動や志を、次の時代へ襷（たすき）を繋いでいくことが重要だと感じます。これからの地域を担う『若い世代』に LC の活動を知ってもらい、興味・共感を持ってもらうために、現在どのような仕掛けや機会を作られていますか。将来のメンバー創出に向けた今後の展開も含めて、議長、ABC 地区のガバナーのみなさんの熱いメッセージをお願いいたします。」